

第2回 排尿機能回復のための治療とケア講座 開催のご案内

平成28年度診療報酬改定では、手術等医療技術の適切な評価の中で、下部尿路機能障害を有する患者に対するケアの評価として「排尿自立指導料」が新設されました。

2025年に迫る高齢者人口のピークに備え、地域包括ケアの構築を基本に在宅復帰が推し進められようとしています。在宅で暮らすために人として一番必要な機能は何でしょうか。食べることと排泄が自立すれば在宅への道は大きく拓けるのではないのでしょうか。特に排泄は人としての尊厳を保つために最も回復が望まれる機能ともいえるでしょう。

今回の報酬改定では排尿自立への取り組みが評価されましたので、下部尿路機能障害を有する多くの患者が、包括的排尿ケアにより機能回復することが出来れば、本人にとって、家族にとって、そして医療者にとっても、患者の新たな生活が見えてきます。本研修は、泌尿器の専門的な知識を習得し、排尿自立ケアの技術とノウハウを学ぶことで、一人でも多くの患者の排尿が自立できることを目的としています。奮ってご参加ください。

開催概要

【日 程】平成29年7月29・30日(土・日) ※医師は7月29日(土)のみ

【会 場】東京研修センター

〒162-0067 東京都新宿区富久町11-5 シャトレ市ヶ谷2階
(丸ノ内線「新宿御苑前」駅より徒歩10分)

【定 員】医師・看護師 計120名(先着順)

※申込締切期日に関わらず、定員に達した段階で受付を終了いたします。

【参加費】医師：会員13,000円 非会員26,000円 参加1日目のみ(昼食1回含む)

看護師：会員25,000円 非会員50,000円 参加2日間(昼食2回含む)

【申込締切】平成29年6月15日(木)

【修了証】*全講義を履修された方には日本慢性期医療協会より「排尿自立指導料」該当研修の「修了証」を発行いたします。

*本講座は「排尿自立指導料」該当研修のため、遅刻・早退・中抜けのある場合は修了証を発行できません。予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

【参加案内】*連絡担当者宛に「受講票」、「参加費請求書」を6月下旬頃にお送りいたします。

※7月11日(火)以降のキャンセルは参加費の返金を致しかねますのでご注意ください。

*交通・ご宿泊の手配などにつきましては、各自でお願いいたします。

*本講座は慢性期医療認定病院の更新要件に該当します。【医師2単位・看護師5単位】

研修プログラム

【1日目】 7月29日（土） 医師・看護師 （計8時間）	
9:30～9:40	開講・事務連絡
9:40～11:10 (90分)	尿路機能障害の病態と診断 講師：中島耕一（東邦大学医療センター大森病院 教授）
11:20～12:50 (90分)	尿路機能障害の治療 講師：中島耕一（東邦大学医療センター大森病院 教授）
12:50～13:40	昼食休憩
13:40～15:10 (90分)	排尿機能不全の背景を考える ～尿路機能障害の予防とケア～ 講師：武久洋三（日本慢性期医療協会 会長）
15:20～16:50 (90分)	尿道留置カテーテルの抜去に向けた取り組み 講師：西尾俊治（南高井病院 院長・泌尿器科）
17:00～19:00 (120分)	排尿ケアチームの役割と排尿自立に向けた実践例（演習含む） 講師：西尾俊治（南高井病院 院長・泌尿器科）

【2日目】 7月30日（日） 看護師のみ （計8時間30分）		
9:20～10:40 (80分)	排尿日誌による評価（演習含む）	講師：皮膚・排泄ケア認定看護師
10:50～12:10 (80分)	排尿ケアの事例検討（演習含む）	
12:10～13:00	昼食休憩	
13:00～17:50 (研修270分+ 10分休憩2回)	排尿ケアの事例検討（演習含む）	
	エコー（残尿測定器）を用いた 残尿の測定の実際（演習含む） 排泄用具と排泄関連福祉用具の 適切な使用方法（演習含む）	
18:00～19:20 (80分)	排尿自立に向けたケア（排尿誘導、骨盤底筋訓練等演習含む） 講師：西村卓也（泉佐野優人会病院係長・理学療法士）	
19:20～19:30 (10分)	閉講・事務連絡	

※2日目は演習がありますので動きやすい服装（パンツスタイル等）でお越しください。

【主催】 日本慢性期医療協会

〒162-0067 東京都新宿区富久町1-5 シヤトレ市ヶ谷2階

TEL. 03-3355-3120 FAX. 03-3355-3122

ホームページ <http://jamcf.jp> 日慢協ブログ <http://manseiki.net/>